

麻疹（はしか）流行について

麻疹ウイルスによって発症する『はしか』。

コロナ禍が終わり人の行き来が活発になった今年、海外からの帰国者の麻疹感染が日本でも相次いでおり、各地で感染が確認されています。

空気感染のため非常に感染力が強く、例えば電車の車両に感染者が1人いれば、その車両内の免疫のない人は100%うつってしまうほどの強い感染力なのです。

はしかの症状は主に発熱や咳、発疹や目の充血などの症状で、肺炎や脳炎などを引き起こし、重症化や死亡する例もあります。また妊娠中にかかると、早産や流産が起こりやすいとされており、妊婦の方は特に注意が必要です。

有効な予防法はワクチンだけです。2回接種で99%以上の予防効果があるとされています。

2000年以降は就学前に計2回の定期接種が行われていますが、2000年より前に生まれた人は1回しか受けていない可能性があります。

さらに、1972年10月より前に生まれた人は1回も接種していない場合もあり、こうした人は追加接種の検討が必要です。

接種歴は母子手帳で確認することができますが、確認できない場合は医療機関で抗体検査を受けて免疫があるかどうかを確認しましょう。

なお、はしかが疑われる症状が出た場合は医療機関に連絡した上で公共交通機関の利用を避けて受診するようにしましょう。

「麻しん(はしか)」

の感染事例が報告されています！

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

感染経路

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに、重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。



症状がある場合

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ますので、お住まいの市町村にご相談ください。

詳しくは
こちら

麻しん 厚労省

検索

厚生労働省
麻しんについて

